

●協働学習 ■児童生徒発表型

実践タイトル 効果的なプレゼンテーションシーンの創出

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・プレゼンテーション資料を電子黒板に提示することで、児童の学び合いを活性化できるようにする。

静止画

・児童が手書きした資料（高速スキャナで静止画としてデジタル化した資料）をもとにプレゼンテーションさせることで、提案内容を明確にさせる。

参考にしてほしいポイント

- ・小学4年生の児童の実態から、思いを自由に表現させるには、手書き資料を生かしたい。そこで本単元では、児童は、手書きの提案資料を作成して、それを高速スキャナでデジタル化して、電子黒板に提示できるようにする。
- ・電子黒板で提示できるように、提案資料の大きさは、模造紙サイズではなくA4版サイズとする。作成時間の短縮を図ることができ、その分、どう伝えるか、どう学び合うかに時間を費やすことができる。
- ・提案は電子黒板で、学び（話し）合いの履歴は黒板に記録し、不易と流行を大切に構成とする。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手書き資料（作戦）をデジタル化するための高速スキャナ</li> <li>・静止画としてデジタル化した資料（作戦）(写真1)</li> </ul>
	5	
展開	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板の拡大・ペン機能を活用して発表する(写真2)。</li> <li>・電子黒板と黒板の併用</li> </ul>
	35	
まとめ	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板と電子黒板を融合させた構成(写真3)</li> </ul>
	45	



写真1：静止画としてデジタル化したプレゼンテーション資料(作戦)の一例



写真2：電子黒板の拡大・ペン機能を活用して発表



写真3：外部講師の招聘と黒板及び電子黒板の併用を目指した授業風景

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・プレゼンテーション資料を手書きでつくることができたので、作戦を思い通りに表すことができた。
- ・他の班の発表を集中して聞くことができた。また、拡大・ペン機能を使い、わかりやすい発表をすることができた。

活用効果

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象での思考・判断・表現</li> <li>・社会的な関心・意欲・態度</li> </ul>
-------	---

具体的容容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板を活用したことで、児童は、効果的なプレゼンテーション資料のつくり方や、発表の仕方について考え、表現し、よりよい作戦（活性化策）を考えようとする意欲の高まりが見られた。</li> </ul>
-------	--

実践の手応え

- ・活性化策を記したプレゼンテーション資料は、A4版サイズの用紙にまとめさせた。それを電子黒板に反映させたことで、提示資料作成の時間を短縮でき、思考力・判断力・表現力を高める時間に費やすことができた。
- ・話し合い内容は、黒板にまとめた。話し合っただけのことは学習シートに記した。全てを電子黒板に頼るのではなく、アナログ的な活動（不易）とデジタル的な活動（流行）を有効に使い分けることができた。